Since1962.　広報湯前
あなたとまちをつなぐ情報誌
YUNOMAE
完成が楽しみ～
2
The Monthly
Public Relations
Feb_2025
Vol.524

社会の一員として参画する

第三回 二十歳を祝う会

新たな時代を築く

1月4日、ゆのまえグリーンパレスで「二十歳を祝う会」を開き、本年度中に二十歳を迎える32人のうち、23人が参加。中学校時代の恩師もお祝いに駆けつけました。

まちを代表して、長谷和人町長は「皆さんをはじめとする若いエネルギーが必要。ふるさと湯前に誇りと愛情を持ち、皆さんの手で新時代を築いてほしい」とあいさつ。参加者を代表して佐々木献人さん（上里3）が「二十歳の節目を迎え、社会の一員としての義務と権利、責任が高まってきた。明るく正しい社会人となり、積極的に社会に参画したい」と答辞を述べました。祝いの品として、まちから地元産の球磨焼酎、地域婦人会からは湯楽里入浴券が贈られました。

式典後は町有林でスギの苗木250本を植林。友人との再会を喜びながら節目の一日を過ごしました。

1_参加した二十歳の皆さん 2_答辞を述べる佐々木さん 3_記念品を受け取る小田さん 4_飲酒運転根絶を宣言した苗床さん 5.6_ていねいに植林 7・8・9_中学時代の恩師としてお祝いの言葉を贈った石原聡子さんと井上達晃さん、河野俊弘さん

二十歳の誓い

二十歳を迎えた皆さんに、頑張りたいことや今の思いなど、素直な気持ちを書いてもらいました。

永濵 香琳 さん（浜川）
笑顔で頑張ります♡

那須 龍樹 さん（浜川）
何事も全力で頑張ります！

北崎 央真 さん（古城）
自信を持ち、立派な背中を見せられる大人になる！

椎葉 咲斗実 さん（古城）
クオリティ高く、迅速に課題を頑張る！

米満 いろは さん（古城）
仕事頑張ります！

溝辺 宥希 さん（浅鹿野）
何事も楽しんで頑張ります！

落合 諒 さん（中猪）
愛してくれてありがとうございます。皆さん愛しています。

小島 聡真 さん（中猪）
就活頑張ります！

椎葉 愛華 さん（中猪）
素敵な大人になる☆

有馬 哉人 さん（野中田2）
仕事頑張ります！

小田 菜波 さん（野中田2）
感謝を忘れずに何事にも挑戦します！

苗床 楓花 さん（野中田2）
笑顔と優しさを忘れずに！

藤本 蓮 さん（野中田3）
仕事を頑張ります！

黒木 愛音 さん（田上）
一生懸命頑張ります！

多良木 ひかる さん（上村）
たくさん挑戦する！カッコイイ大人になります。

村山 蓮 さん（上村）
元気に仕事を頑張ります！

椎葉 晴基 さん（瀬戸口）
いろいろなことに挑戦する一年にしたいです！

須賀 柚葉 さん（上里1）
挑戦の一年にしたいです！

佐々木 献人 さん（上里3）
立派な大人になります！カッコイイ父になります！

髙瀬 桃伽 さん（下染田）
自分を大切に！

庄籠 珠有 さん（中里1）
やりたいことは全部やる！

中渡 蒼空 さん（下里）
映画やドラマ、ライブ、なんでも仕事を頑張る！

井手 美咲 さん（植木）
二十歳楽しみます。

火災や災害への心構えを

湯前町消防団 出初式

1_ 安定の技術で優勝した第４分団第２部 2_ 湯前保育園の通常点検では園児の元気な声が響く 3_ ホースを担いで放水地点へ 4_ 訓示を述べる土屋団長 5_ 素早くホースを結合 6_ 70㍍を全力疾走 7_ 電源を入れて、水圧を調整

1月5日、湯前町消防団（土屋登志久団長）が湯前小学校一帯で出初式を開催。団員97人が出動しました。

式典で長谷和人町長は「消防団は公助共助の両方の側面を持つ地域防災の要である。過去の災害を教訓にしながら、消防団活動に取り組んでほしい」、土屋団長は「いつ発生するか分からない火災や災害などに対する準備の心構えを持ち、精進してほしい」とあいさつしました。

式典後には各分団や湯前保育園の通常点検があり、放水競技へと移りました。放水競技では自動車ポンプの部に1チーム、小型ポンプの部に12チームが出場。小型ポンプの部は第4分団第3部（馬場）が安定の技術で3大会連続の優勝を果たしました。

〈放水競技〉

▼小型ポンプの部

①第４分団第３部（馬場）
②第４分団第４部（下城）
③第１分団第１部（上里）

〈年間総合成績〉

①第２分団第１部（上下染田）
②第２分団第４部（下城）
③第４分団第３部（馬場）

自動車ポンプの部 連覇

上球磨消防団連合会 放水競技大会

1_ 抜群のチームワークで自動車ポンプの部を連覇した第２分団第１部 2_ 素早い動きでホースを連結 3_ 合図とともに放水を止める 4_ 選手宣誓で力強く宣言する瀬谷さん 5_ 一列に並び終了報告

1月19日、上球磨消防団連合会が多良木町多目的総合グラウンドで上球磨消防団連合会放水競技大会を開催。湯前町・あさぎり町・多良木町・水上村から、代表の消防団員が出動し、消防技術を披露しました。

本町からは、5日に行われたまちの放水競技大会で優勝した第2分団第1部（上下染田・ポンプ部）と第4分団第3部（馬場・小型ポンプ）、2位だった第2分団第4部（下城・小型ポンプ）が出場。8チームで競った小型ポンプの部では、健闘するも第4分団第3部が4位、第2分団第4部が6位という結果に終わりました。

自動車ポンプの部には2チームが出場。第2分団第1部が抜群のチームワークを見せて、見事に連覇を果たしました。指揮者の瀬谷憲功（のりよし）さん（36＝上染田）は「しっかりと準備ができて優勝につながった。全国大会で培った経験もあり、消防団の技術の高さを示すことができた」と話しました。

〈放水競技〉

▼小型ポンプの部

①あさぎり町（4―2）
②水上村（1―5）
③あさぎり町（1―1）
④第4分団第3部（馬場）
⑤水上村（2―5）
⑥第2分団第4部（下城）
⑦多良木町（9―4）
⑧多良木町（9―3）

▼自動車ポンプの部

①第2分団第1部（上下染田）
②多良木町（1―3）

次のステージへ
地域おこし協力隊 任務完了

令和2年10月～令和6年12月までの4年3カ月
地域おこし協力隊を務めた片山強さん
任期を終えた今、思うこと――。

前職の経験を生かして

令和2年10月に福岡市からUターンで地元湯前町に帰ってきて、観光振興担当協力隊に着任しました。元々観光関連の仕事には興味があり、イベント会社に務めていたということもあったので、これまでの経験を生かして地元の役に立てればと思い、協力隊の仕事を選びました。

企画して良かった

任期中に常に考えていたのは「どうやって湯前町に人を呼び込むか」ということです。令和2年7月豪雨災害直後・新型コロナウイルス感染症まん延中というタイミングでの着任で、観光振興にはかなり厳しい状況でした。「足を運んでもらう前に、まずは多くの人に湯前町を知ってもらおう」と考え、情報発信のためにInstagram（インスタグラム）を始めました。協力隊目線で、まちの風景や施設などを紹介するところから始め、少しずつフォロワーも増えていきました。

前任から引き継いだ紅葉や桜のライトアップ以外に、花手水や風車飾り、城泉寺（浄心寺）・明導寺でのライトアップなども企画しました。ライトアップや風車飾りなどを観た皆さんから「来てよかった!」や「すごくきれいだね!」などの声を聞くことができ、やって良かったなと思えました。

退任直前には、勤務場所であった「湯～とぴあ」で「湯前町風景写真展」を開催しました。まちの四季折々の風景や、任期中に実行した企画の写真などを展示したところ、多くの人に見に来てもらうことができました。

今後もまちのために尽力

協力隊の任期は最大3年間ですが、コロナ禍に着任した私は任期を延長できたので1年3カ月延長しました。活動する中で皆さんと関わり、自分にとって勉強になったこともたくさんあり、とても良い刺激となりました。

協力隊としての活動は終わりましたが、今後もまちに残って、まちのために尽力したいと考えています。これまでの経験を生かしてイベント企画や動画制作などに携わり、湯前町に限らず人吉球磨全体をPRしていくことも目標の一つです。人吉球磨にはすばらしい観光資源がたくさんあり、どのように活用しアウトプットしていくかが大きな課題であると感じています。インバウンド対応など、しっかりと先を見据えながら柔軟に対応できるように頑張っていきます。

PROFILE：かたやま つよし（45 ＝上里１）
上里１区出身。人吉高校卒業後、福岡へ進学し、イベント関係の会社に勤務。令和２年10 月から地域おこし協力隊に着任し、主に観光振興を担当した。

《隊員としての活動内容》

■まちの情報発信
- Instagram や町ホームページによる情報発信
- 湯前町文化財マップ作成
- 球磨中央高校での球磨地域学講演
- 湯前町風景写真展の開催

■にぎわい創出（映えスポットの創出）
- 風車飾り ※写真１
- 紅葉ライトアップ
- 桜のライトアップ ※写真２
- 花手水
- 駅ホームや駅前公園での花壇作成（湯前町婦人会や湯前町青年団との共同作業）
- 城泉寺（浄心寺）での和傘を使ったライトアップ ※写真３
- 明導寺本堂での外観ライトアップ
- レールウイングでのクリスマスイルミネーション ※写真４
- B&G でのナイトSUP（サップ）ヨガにおける照明演出

■湯前町観光案内人協会事務局
- 町内を歩きながらガイドをする「郷あるきツアー」を企画

■デザイン関係
- 湯前産米「ぴかまる」ロゴマーク作成
- 湯楽里「骨かじり」ロゴマーク作成
- 湯前町社会福祉協議会車両ラッピングデザイン

個性あふれ出す作品に

湯前小学校 卒業記念品作り

1_ 試行錯誤しながらデザインを描く 2・3・4_ 講師のアドバイスに耳を傾ける 5_ 一点集中 6・7_ 思い描いた作品が完成して大満足 8・9_ 慎重に仕上げる

1月21日、湯前小学校で陶芸教室が開かれ、同校の6年生児童28人が卒業記念品作りとしてオリジナルマグカップを作りました。

同教室は「赤い羽根共同募金」の配分金事業として、湯前町社会福祉協議会が毎年開いているもの。湯前町老人クラブ連合会陶芸部会の会員7人が講師として参加し、見回りながら、一人一人の制作を手助けしました。

陶芸用の粘土に悪戦苦闘しながらも、個性あふれるマグカップを作りあげた児童ら。制作を終えて、河本悠斗さん(中猪)は「形を整えるところや取っ手をつけるところが難しかったけれど、講師の先生が分かりやすく教えてくれたので完成させることができた」、陶芸部会の橋田祐明さん(87=下里)は「子どもたちは工夫しながら楽しんで作っていた。話もきちんと聞いていたし、教えがいがあった」と話しました。

今の思いを知事に問う

お出かけ知事室～ともに未来を語る会～

1・2_ 町民からの意見や質問にていねいに答える木村知事 3・4_ 緊張しながらも、考えてきた意見や質問を知事に伝える

1月13日、湯前町保健センターで「お出かけ知事室～ともに未来を語る会～in湯前町」が開かれ、知事との対話を希望した12人が参加。長谷和人町長をはじめ、多数の町民らが傍聴しました。

同会は木村敬熊本県知事が、県民の皆さんの意見や提案などを直接聴いて、県の政策へ速やかにつなげることを目的に、県内全市町村で開いているもの。球磨郡では水上村、球磨村に次いで3番目の開催となりました。

知事への意見や提案の内容は県南地域の活性化やTSMC波及効果、マンガによる地域振興、肥薩線の復旧、九州新幹線宮崎へのルート、県南地域の農業や後継者育成、子どもの居場所、教育格差など。知事は12人の意見を真剣に受け止め、ていねいに答えました。

知事はマンガによる地域振興について「もっとまんが美術館独自で発信してほしい。湯前町にはまんが美術館というすばらしいハブ(中核)がある。まんが美術館を通じてつながる輪を作ってもらいたい。町民の皆さんと一緒になって湯前町をマンガの聖地にしていきたい」。子どもの居場所については「学校の空き教室などを有効に活用してほしい。学校と相談して、居場所づくりを誰が運営するか、どのように進めていくかを協議してほしい。湯前町や学校などの提案を受けて、県としてどんな風に支援できるかを検討したい」と答えました。

知事に質問した黒木真也さん(49=上里3)は「知事に初めて会った。緊張はしたけれど、考えてきた質問はできた。知事の回答を今後に役立てていきたい」、橋田實子さん(79=下里)は「めったにない機会で、意見を聞いてもらえた。ていねいに回答があって良かった」、亀山哲馬さん(77=野中田2)は「参加者の質問に真剣に答えていた。知事に良い印象を持った」と話しました。

異常気象の中でも、生産の励みに

農産物優良生産者表彰

昨年12月24日、役場洋会議室で「農産物優良生産者表彰」を開き、受賞者９人が出席しました。同表彰は部門別で販売成績が優秀だった生産者が対象。今回は14部門25人を表彰しました。

出席した９人に表彰を手渡した長谷和人町長は「昨年は例年以上に高温で、農産物の生産に気を遣ったところではないかと思う。今後も優秀な農産物を生産してほしい」と話しました。キュウリ部門で１位だった大石光治さん（52 ＝下村）は「異常気象の中、害獣や害虫対策、水の管理など、試行錯誤しながらの結果でうれしい」と話しました。

1_ 各部門の優秀者には長谷町長から表彰される 2_ 受賞者と記念撮影

民生委員・児童委員の功績が認められる

社会福祉功労者厚生労働大臣表彰・永年勤続民生委員児童委員表彰

１月15日、湯前町保健センターで「社会福祉功労者厚生労働大臣表彰（民生委員優良活動団体表彰）」の表彰報告会と「永年勤続民生委員児童委員」の表彰状伝達式が開かれました。

「民生委員優良活動団体表彰」は10年以上活動している団体のうち、活動内容が先駆的または模範的と認められた団体に贈られるもの。「永年勤続民生委員児童委員表彰」は10年以上活動している委員に全国民生委員児童委員連合会から贈られるもので、那須清文さん（72＝馬場）と永山治実さん（73 ＝上猪）が受賞しました。

湯前町民生委員児童委員協議会の東振作会長（76 ＝下村）は「今回の表彰はとても名誉なこと。先輩委員から受け継いだ活動を続けてきての受賞だと思っている」、那須さんは「活動中に受け取った感謝の言葉などを力に、10年間続けることができた」、永山さんは「今後も私にできることを続けていきたい」と話しました。

1_ 長谷町長から伝達表彰を受けた那須さんと永山さん 2_ 民生委員児童委員協議会の皆さんと記念撮影

小正月の伝統行事を楽しむ

どんどや

１月18日、湯前小学校グラウンドで「どんどや」を開き、緑の少年団の児童が家族らと参加。小正月の伝統行事を楽しみました。

朝から竹などを組み上げ、午前中に点火。燃え尽きるまでの間は竿作りや食事の準備をしました。竿作りを終えると、持ち寄った食べ物を竹竿に吊るして灰の中へ。熱と煙に苦しみながら焼き上げ、下村婦人会特製の豚汁と一緒に食を楽しみました。火が消えるまでは暖炉として体を温めたり、串にマシュマロをつけて焼くなど、一日を満喫。冬の伝統行事を肌で感じました。

1_ 食を楽しみながらピース 2_ 盛大に燃え上がる 3_ 手作りの竿に吊るして火の中へ 4_ みんなで食べるマシュマロはおいしい

小さなことでもほめて前向きに

子どものほめ方講座

１月12日、湯前町保健センターで「子どものほめ方講座」を開き、未就学児の保護者やペアレントメンター※が参加しました。同講座は未就学児の保護者が前向きに育児できるようにとの想いで開いています。

熊本県南部発達障がい者支援センター「わるつ」の地域支援マネージャー、大石恵さんがほめることの大切さや過程をほめること、小さなことでもいいところを探すことなどを話しました。後半は親同士で悩みを話せる、親の会「まいまいの会」を紹介し、茶話会では日常の悩みを共有。保護者同士で意見を交わしました。

講座に参加した平川統大（もとひろ）さん（31 ＝中里２）は「ほめるときは結果に目を向けがちだったけれど、過程に対してほめることを意識したいと感じた。同じ環境にいる親同士で悩みを共有できた」と話しました。

※育児経験があり、相談支援に関する一定の研修を受けた人

1_ 講師の話に耳を傾ける 2_ 茶話会では日常の悩みを共有

冬のお楽しみ会
あゆみの会 クリスマスのつどい

音楽パフォーマンスを楽しむ参加者

昨年12月22日、ボランティアグループ「あゆみの会」（地内豊子代表）主催のクリスマス会が農村環境改善センターで開かれ、障がいのある人や家族、ボランティアなどが参加しました。

障がいのある人と家族、地域住民との心のきずなを結びながら地域で支え合うことを目的に毎年開催されていて、ことしで31回目となりました。なずなの会の劇やアンサンブル楓の音楽パフォーマンス、キャンドルサービスなど、楽しいひとときを過ごしました。

地内さんは「毎回たくさんの人が参加してくれてうれしい。これからも活動を続けていきたい」と話しました。

まちの発展のために
湯前町特別職報酬等審議会 答申

答申書を読み上げる中武会長

昨年12月27日、役場町長室で長谷和人町長からの諮問に対する答申があり、湯前町特別職報酬等審議会の中武義秋会長が長谷町長に答申書を手渡しました。

同審議会は町議員の報酬や町三役（町長・副町長・教育長）の給与額の改定、改定時期について議論。報酬等の方針や、報酬等が職務や職責にふさわしくなること、社会環境やまちの財政状況に応じて検討することなどが答申書に記載されています。答申書を受け取った長谷町長は「今回の答申を次年度の予算に反映できれば」と話しました。

出生祝い金贈呈

尾方 応綺 ちゃん
R6.10.24 生（下染田）
総視・慧

メッセージ
元気にすくすくと、お兄ちゃんとたくさん遊んでほしいです。

赤城 音帆 ちゃん
R6.11.28 生（上里1）
隼也・衣未菜

メッセージ
お兄ちゃんと仲良く、元気にすくすく育ってほしいです。

人のうごき

12月
人口＝3445人
（男＝1630 女＝1815）
世帯＝1510世帯
※12月31日時点

結婚おめでとう
八橋 晃明（多良木町）
澁谷 楓（上里1）
金子 琳平（野中田1）
德永 奈々（福岡県）
高木 玲（上村）
伊藤 由梨愛（愛知県）
東 大貴（人吉市）
中園 美里（上里1）

誕生おめでとう
赤城 音帆（上里1）
隼也・衣未菜

ご冥福をお祈りします
鳴松 藤隆（野中田1）
椎葉 イキ（植木）
谷口 トミ子（上里1）
中田 利勝（野中田2）
中村 和喜（中猪）

香典返し
金子 裕子（下染田）
東 ツヤ子（上染田）
鳴松 三江子（野中田1）
椎葉 信男（植木）
谷口 鏡（上里3）

湯前歴史散歩
普門寺のはなし②

今回は普門寺とゆかりの深い市房山が、いかに重視されていたかを示すものとして、人吉藩主の市房参詣を紹介したいと思います。

『球磨絵図』より普門寺付近
人吉教育委員会所蔵（西重美氏旧蔵）

普門寺の禄高

江戸時代の普門寺は市房神社の別当寺として市房山の信仰を管轄していました。普門寺には相良家から市房神領として460石が与えられていました。人吉の願成寺が239石あまり、青井阿蘇神社が216石であることと比較しても領内の寺社で最大の禄高※1でした。市房山が信仰の対象として重視されていたことがうかがわれます。

人吉藩主の市房参詣

市房山が人吉藩から重視されていたことがわかる行事として、藩主の市房参詣（市房社参）がありました。

江戸時代、人吉藩主は参勤交代のため江戸へ出発する前に市房神社に参詣することが恒例となっていました。江戸時代後期の記録をもとに市房参詣の流れを紹介したいと思います。

1月初めに市房参詣を行うかどうか側近が藩主に伺い、日程や道順が決まります。道筋の村々では、道作りを行い、社参前日には掃き掃除をして、藩主の一行を迎えました。

当日は九つ時（午前0時）供揃えをして人吉を出発。多良木の永昌寺で朝食を、湯山の御仮屋※2にて昼食をとり、市房神社へ参詣しました。市房神社では普門寺の住職が案内を勤め、藩主の参拝後には普門寺住職と御供の御用人が相伴※3をして三献※4があり、休息所で御粥と煮しめを食べることになっていたようです。食事を済ませて湯山まで帰り、夜は湯山に一泊しました。

安永2年（1773年）成立の『球磨絵図』には普門寺の近くに御仮屋が描かれ、「市房社参等の節ここに止宿する」と説明が記されています。江戸時代中期ごろには、湯前の御仮屋が利用され、後に湯山の御仮屋が利用されるようになったようです。

話は戻り、翌日は朝七つ時（午前4時）に供揃えをして湯山を出発し、湯前の普門寺に参詣しました。普門寺では藩主一行を出迎え、酒肴でもてなしました。

普門寺から人吉の帰路には球磨川の北を通る北目筋と、上村（現あさぎり町上）方面を通る南目筋の二通りがありました。北目筋を通るときは岩野の生善院、黒肥地の青蓮寺などに参詣しながら人吉に帰ったようです。南目筋通行のときは、上村の宝持院※5で昼休憩をしました。

藩主は駕籠に乗っているとはいえ、人吉から市房神社までを一泊二日で往復するのは大変なことだったでしょう。藩主自ら参詣を行うほど市房神社が重視されていたということができます。

※1 藩から俸給として与えられた土地や米高。当時は米の収穫高で表示していた
※2 藩主が休憩や宿泊で使う施設
※3 同伴して食事をとること
※4 杯を回して酒を飲むことを三回繰り返す儀式
※5 現存せず

教育課 学芸員 **松村 祥志**

NEWS 1

力作を観られるチャンス
「那須良輔風刺漫画大賞作品展」

先月16日～まんが美術館特別展示室で開催中の「第33回那須良輔風刺漫画大賞作品展」。全国各地から集まった640点の力作から、栄えある賞に輝いた35作品と、美術館スタッフ選りすぐりの秀逸作180作品を展示しています。

←力作が並ぶ展示室

NEWS 2

村枝コレクション公開中
「漫画家・村枝賢一の部屋」

昨年の美術館リニューアルにより、入り口の正面に新しい展示室ができました。先月16日から、芦北町在住の漫画家・村枝賢一先生のプチ展示を開催しています。漫画フェスタの”人気漫画家ゲスト”として、2012年から毎年本町に来ていただいている村枝先生が美術館のために描き下ろしたサイン色紙や合作の巨大イラストなど、秘蔵コレクションを公開しています。

〈場　所〉湯前まんが美術館　特別展示室
〈会　期〉２月下旬まで（予定）
〈観覧料〉大人300円　中学生以下100円
未就学児無料　※湯前町民は無料です

村枝先生の色紙（2012年）

NEWS 3

ご来場ありがとうございました
出前展示「那須良輔の漫葉集（まんようしゅう）」

先月５日～30日まで、合志マンガミュージアム（合志市）にて、出前展示「那須良輔の漫葉集」を開催しました。本展は、湯前まんが美術館所蔵の那須良輔作品を県内外に出張展示する「出前まんが美術館」の一環として実施。今回で13回目の展示となり、累計来場者数は１万人を突破しました。

「那須良輔の漫葉集」では「政治風刺」「昭和人物録」「二つのふるさと」「子どもたちとともに」の全４章構成で、那須先生が描いた貴重な作品原画を展示しました。各章を象徴する那須先生の名言や、展示作品について自身や知人が述懐（じゅっかい）したエピソードも紹介。漫画と言葉で紡がれる、まさに「漫葉集」と呼べる展示になりました。

1_「政治風刺」ではユーモアの中に痛烈な風刺を放つ 2_「第４章 子どもたちとともに」展示作品

NEWS 4

ことしも実施！
出前まんが美術館

「出前まんが美術館」は原画や複製原画を展示できるスペースがあれば、規模の大小を問わず各地で開催できます。那須先生の作品をあしらったしおりや缶バッジなどを手作りするワークショップ、風刺漫画の読み解きかたを学ぶ講座なども合わせて開催できます。公民館に那須先生の絵を飾りたい、郷土教育の一環として那須先生の作品について学びたいなどの要望がありましたら、お気軽にまんが美術館までお尋ねください。

ワークショップ（缶バッジ作り）

ホームページ

X（旧Twitter）

Instagram

▲HP・SNSでまんが美術館の最新情報を発信中。ぜひご覧ください！ **SNSアカウント：@yunomae_manga**

Pickup

広報湯前 良輔アーカイブ展

現在開催中の展覧会から、那須先生の魅力あふれる作品をピックアップ！

『鎌倉東慶寺（鐘楼）』

那須先生のことば

二月に入ると鎌倉では梅の花が待ちかねたようにほころびはじめる。毎年梅の花の季節になって、意外に梅が多いのには驚く。神社や仏閣の境内（けいだい）をはじめ、山道や山裾、民家の庭などに紅白の梅の花を見る。―那須良輔『鎌倉の四季』（六興出版,1983年,P11）

故 **那須 良輔** 先生

Information

那須先生の作品画像を無料で利用可能！

まんが美術館に収蔵されている那須先生の作品画像を無料で利用できます。利用したいときは申請書を教育課に提出してください。くわしくは教育課に問い合わせるか、まんが美術館ホームページで確認してください

教育課　☎0966（43）2050

『かわはぎ かさご』

髙橋 颯希（さつき） 隊員

中尾 章太郎 隊員

栄養　春の野菜と思われがちな菜の花

菜の花は冬〜早春が旬の、栄養価の高い緑黄色野菜です。体の抵抗力を高めたり風邪や貧血などを予防する効果があります。あえ物や煮ひたし、吸い物、いため物など、さまざまな料理に使うことができます。

■選び方
葉や茎の緑が鮮やかでみずみずしく、つぼみが開いていないものを選ぶ

■保存方法
湿らせた新聞紙やキッチンペーパーに包んで、冷蔵庫の野菜室に保管すれば２〜３日は日持ちする。さっとゆでてラップでくるみ、冷凍すると長期間保存できる

■調理のポイント
豊富に含まれるビタミンＣは水溶性なので、ゆで過ぎたり水にさらし過ぎたりしないようにする。油でいためるなど、油脂と一緒に食べることでカロテンの吸収率が高まる

Recipe　菜の花のおひたし

【材料】※２人分
菜の花…100㌘　ごま…適量

【調味料】
薄口しょうゆ…大さじ１　みりん…大さじ１　顆粒(かりゅう)和風だし…小さじ1/3　砂糖…小さじ1/2

【作り方】
①みりんを加熱してアルコールを飛ばし粗熱をとる
②沸騰したお湯に菜の花を入れ、中火で２分半ゆでる
③火から下ろしたら、冷水にさらして水気をしっかり切る
④③を好きな長さに切って、調味料を加えて混ぜ合わせる
⑤ごまをかけて完成

栄養士　**熊部 英恵**

環境　生ごみ処理機などの購入を補助

くわしくは、保健福祉課環境衛生係にお尋ねください。
※申し込み順で限りがありますので、早めに検討してください

■生ごみ処理機(電動型) ※スイッチを押すだけで、生ごみがパリパリに！
購入価格の２分の１を補助(限度額３万円) ※１世帯１台まで

■生ごみ処理容器(コンポスト) ※栄養豊富で安全な堆肥を使いおいしい作物を！
購入価格の２分の１を補助(限度額3000円) ※１世帯２個まで

メリット
・生ごみの臭いや虫、汁だれ、カラスや猫の被害が無くなる
・ごみ出しの負担が軽くなり、ごみ袋の節約になる
・花壇の肥料に使える

コンポスト

３切るでごみ減量を
町のごみ処理にかかる負担金は「ごみの重さ」で決まります。「食材を使い切る」「料理を食べ切る」「生ごみの水を切る」を実践して、ごみを出しましょう

12月の一人当たりのごみの量 ※リサイクル品を除く
21.68kg(先月から2.99kg増)

	11月分	12月分	昨年12月分	
燃えるごみ(kg)	59,950	68,860	68,800	60
燃えないごみ(kg)	3,840	5,300	5,200	100
リサイクル品(kg)	9,930	14,460	11,640	2820
粗大ごみ(kg)	580	520		
有害ごみ(kg)	30	20		

２月の不燃物収集は
5・19日(第１・３水曜日)です

保健　心がけたい生活習慣「一無二少三多」

２月は生活習慣病予防月間です。生活習慣病予防協会が啓発を進めている健康標語に『一無、二少、三多』があります。

■一無…無煙・禁煙
たばこの煙には250種類の有害成分が含まれ、70種類以上には発がん性が確認されている。有害成分にはニコチンや一酸化炭素、タールなどがあり、禁煙することで健康改善につながる

■二少…少食(腹八分)、少酒
暴飲暴食を控えることは、体の機能を健康な状態に維持していくうえでとても大切。糖尿病や脂質異常症、高血圧などの予防・治療の基本は食生活。腹八分目でやめる、偏食をしない、よく噛んで食べる、三食を規則正しく食べることなどを心がけることが重要

■三多…多動(体を動かす)、多休(休養)、多接(多くの人やものに接する)
日常生活の中で身体活動を多くして、しっかりと休養をとり、多くの人と交流し、さまざまなものに好奇心をもって接することで、創造性豊かな生活を送ることが大切

ことしの予防月間のテーマは「少酒」
過度な飲酒が長く続くと、さまざまな影響があります。中でも怖いのはアルコール健康障害。今後も長く飲み続けられるように「少酒」が勧められています。
厚生労働省では純アルコール量と分解時間の目安が分かる「アルコールウォッチ」が提供されています。ビールやハイボール、焼酎、ワインなど飲んだ合計の純アルコール量がすぐに分かりますので、ぜひ使ってみてください。

引用元：日本生活習慣病予防協会ホームページ、厚生労働省ホームページ

保健師　**野々原 亜紀**

本の世界

中央公民館図書交流棟　☎0966(43)2050　【平日】8:30〜17:00　【土日・祝】9:30〜17:00

やせる背骨しぼり
隅田 咲(著)・サンマーク出版
「やせなさい」と言われて運動を頑張り食べることを我慢するのも、誰かに「やせましょう」と言って我慢を強いるのも無理という気弱なパーソナルトレーナーが人体のしくみを研究し、たどり着いた「勝手にやせていく体をつくる方法」を大公開！

大切な人が認知症になったら最初に読む本
山村基毅(著)・メディア・パル
認知症になると起こることや最初に手をつける べき手続き、患者本人との接し方、本格的な介護生活への備えまでを、イラストや図を用いて解説。不安を解消し、心の準備と覚悟ができる一冊。

ちいかわ お友だちとのつき合いかた
ナガノ(イラスト)、加藤 裕美子(監修)・KADOKAWA
ちいかわたちといっしょに、小学生から身につけておきたい「お友だちづき合いに大切なこと」。自分自身のことについても知りながら、友だちのことを大切にできる心をはぐくむ。大人になっても役に立つヒントが盛りだくさん。

ノラネコぐんだん いろいろさがしえブック
工藤 ノリコ(著)・白泉社
累計200万部突破の人気シリーズ初の写真絵本。カラフルな「色」の世界で、ノラネコや探しものを見つけよう。

婦人会だより

リース作り・テーブルマナー

昨年12月20日、支部長会でクリスマスや正月用のリース作りをしました。もみの木やまつぼっくりなどを使って、個性あふれるリースが完成。玄関や部屋に設置して、楽しいクリスマスや正月を過ごしました。

1_ どんなリースにするか試行錯誤しながら作成 2_ 満足のできる作品を持って記念撮影

昨年11月22日、支部長研修としてテーブルマナーを体験しました。普段しているマナーと違いがあってとまどいがありましたが、正しいテーブルマナーを学ぶことができました。

地域婦人会 会長
苗床 由美

B&G だより

スポーツ大会に出場

昨年8月21日、津奈木町B&G海洋センターで県・南九州ブロックスポーツ大会が開催。県外から選手が集まる中、当クラブからは水上の部（カヌー）と水泳の部に出場しました。

海でのカヌーや初めての場所での水泳と慣れない環境でドキドキでしたが、練習したことを思い出して実践。選手全員が最後まであきらめずにレースを終えることができました。

初めてのことでも挑戦し、緊張にも立ち向かっていく子どもたちの姿に勇気をもらいます。何事も最後までやり抜く気持ちが大切だと改めて感じました。

1_ 大会に参加した選手。緊張したものの、練習の成果を発揮した 2_ 大会前の練習でこぎ方などを学ぶ

【大会結果】

■水上の部

小学4年生女子　1位　古市 楓（上里3）

〃　3位　高橋 佳奈（上里1）

■水泳の部

小学6年生男子　高橋 悠人（上里1）

50㍍背泳ぎ1位、50㍍自由形2位、50㍍平泳ぎ2位

B&G海洋センター **安井 佳奈**

つなぐゆのまえ ―人権のひろば―

▼ホームレスに関する人権

みんなが生きやすく温かい社会に

「ホームレス」とは？

ホームレス自立支援法によると、公園や河川、道路、駅舎などを起居の場所として日常生活を余儀なくされている状況にある、いわゆる野宿生活をしている人としています。

なぜホームレスに

国の実態調査によると、ホームレス状態になった理由は「仕事が減った」「倒産や失業」「人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた」「病気やけが、高齢で仕事ができなくなった」だけでなく「家族関係の悪化や離別・死別」「退院や退所後の行き先が無い」などもあります。

どんな人権問題があるか

やむを得ずホームレスとして生活しているにも関わらず「本人の責任」「怠けている」などの偏見や「怖い」「衛生的でない」といったイメージがあることで、地域社会との摩擦が生じ、苦情や嫌がらせを受け、ひどいときは暴行の対象になるなどの人権侵害も発生しています。

ほかにも住所が定まらないというだけで、十分な医療や福祉サービスを受けることができない、就職で不利になるなどの問題もあります。

問題解決に向けて

偏見や固定的なイメージでホームレスを排除してしまうのではなく、誰もが関わりのある社会的な問題ととらえることが大切です。ホームレスとしての生活を営まざるを得なくなった理由や苦しみを正しく理解して、社会的に弱い立場にある人を支えていくことが、私たちにとっても生きやすく温かい社会につながっていきます。

地域人権教育指導員
窪田 龍記

町民憲章

Town's People Charter

一.健康で心豊かなまちをつくりましょう

一.平和・勤勉・明朗なまちをつくりましょう

一.自然を人を郷土を愛するまちをつくりましょう

一.活力があり未来あるまちをつくりましょう

私たちは湯前町民であることに誇りを持ち、豊かで明るく住みよい町にするために町民憲章をここに定めます。

2月の表紙

完成が楽しみ～

1月21日に湯前小学校6年生が卒業記念制作でマグカップを作りました。形が壊れないようにやさしく持って慎重に描く。完成した作品がどんな風に戻ってくるのか楽しみ。

撮影場所 湯前小学校

YUNOMAE
Since1962. 広報湯前
2 Feb 2025
Vol.524
令和7年1月31日発行第524号
編集・発行／湯前町役場総務課
〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1 TEL:0966(43)4111 HP:https://www.town.yunomae.lg.jp/ 印刷／(有)ソーゴーグラフィックス

脱炭素社会や循環型社会の実現へ

「ボトル to ボトル」水平リサイクルに関する協定締結式

7町村とサントリーホールディングス株式会社が新たなリサイクルを推進する

1月14日、ひみつ基地ミュージアム（錦町）で『ボトル to ボトル』水平リサイクルに関する協定締結式」が開かれ、7町村（錦町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村）の首長やサントリーホールディングス株式会社サステナビリティ経営推進本部の西脇義記副本部長、サントリー株式会社九州熊本工場の高尾修司工場長が出席しました。

脱炭素社会や持続可能な循環型社会の実現を目指して、各町村がペットボトルのリサイクル方法を検討していたところ、国が推奨する「ボトル to ボトル」水平リサイクルをサントリーグループが提案。提案に賛同した7町村が本協定を締結しました。

7町村を代表して多良木町の吉瀬浩一郎町長は「球磨地域では循環型社会の実現に向けて、環境政策に取り組んでいる。脱炭素社会や循環型社会の実現に向けた取組を進めたい」、西脇副本部長は「7町村の思いが一致して、今回の協定が実現した。今後も一層連携したい」、高尾工場長は「地元の皆さんにサントリーと連携してよかったと思ってもらえるよう、新たなリサイクルを進めていきたい」とあいさつしました。

ゆのまえ

心豊かで、活力があり、未来を創造する町

町章

町の鳥「メジロ」

町の花「ツツジ」

町の木「ヒノキ」

町ホームページ

町公式LINE（ライン）

町公式instagram（インスタグラム）